

令和6年2月14日

三谷城址記念碑除幕式並びに塩田政幸親子鎮魂式に寄せて

株式会社アリエス 代表取締役
たち風プロジェクト主宰 三谷 博明

本日はご多用の中、式典にご参列いただき誠にありがとうございます。

式典開催にあたり、以下に式典の趣旨、記念碑設置の経緯を記させていただきます。

1. 式典の趣旨

美馬の穴吹町三島三谷の地で三谷城城主として繁栄するも、天正10(1582)年、長宗我部勢に攻められ落城した鎌倉北条氏の末裔塩田政幸(しおだまさゆき)の類まれなる活躍を称えるとともに、ここ三谷城址を復興整備し、未来世代に伝えていくべく、三谷城址の所在を示す石碑と塩田政幸親子の鎮魂式を執り行わせていただきます。

2. 三谷城址について

この場所に初めて私(三谷)が足を運び入れたのは2021年秋頃ですが、私と同じ名前の城がGoogleに載っているのを見つけたところから、探索が始まりました。地元の人にもあまり知られないまま長年放置されているのは寂しく、せめて案内道標だけでも設置できないかと思いましたが、道標設置でも土地所有者の了解が要とのこと、美馬市の〇〇様に相談したところ、所有者のお名前と連絡先がわかり、ご家族との面談の機会を得ることになりました。所有者はすでに亡くなられ、ご親族の方が県外にいらっしゃいましたが、美馬の土地はほとんど知らず帰ってくる予定もないとのことだったので、思い切って城址の保全のため譲っていただけないかとお話したら、快く了解をいただき、売買交渉を進めさせていただきました。

その結果、2023年12月に売買契約が成立し、三谷城址地の東側の雑種地・山林を含む土地の取得が完了しました。

この間、所有者のご家族の割り出し、ご連絡の労をとっていただいた皆さまには有難く感謝申

上げます。

3. 三谷城址の今後について

私と同じ名前の城ということで、三谷城址に興味を持つことになり、土地取得まで至りましたが、この後、専門の先生たちのお力をお借りながら、歴史的資料となるものの探索と研究に取り組めればと思います。個人的には地形的にこの場所は、さらに時代をさかのぼっていけば、戦国時代の城郭以外の用途(宗教的祭祀的場所等)があったのではないかと想像を広げています。

今後ともご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

※現地でお分かりのように、三谷城址の土地にはすでにゴミの不法投棄がされています。当面こうしたゴミの撤去、残置物の撤去等の整備にとりかからせていただきます。

■三谷城址保全是、株式会社アリエスが2022年に始めた超長期的プロジェクト「たち風プロジェクト」の1番目にあげられています。

詳細は以下のサイトにてご案内しています。

・たち風プロジェクト

<https://tachikaze.aries.gr.jp/>

・三谷城址保存プロジェクト

<https://tachikaze.aries.gr.jp/hozon/>

「三谷城について その1～3」に探索のブログ的記録が掲載されています。

※2023年6月に信州の塩田を訪れ、地元資料館で塩田北条氏の末裔が「阿波に渡り、子孫が繁栄した」との文章を見つけた時は感無量でした。